

- タウン情報 -

# きくがわ

2022

4

Vol. 179



左：夢風車 右：桜と高速道路

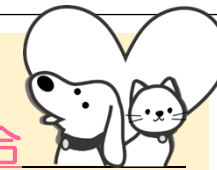
## 菊川のお餅・福引イベント開催

令和3年度菊川まつり実行委員会が菊川まつりの代替事業として、「菊川産のもち米を使用したお餅配布」や「福引大抽選会」を12月に開催しました。例年の菊川まつりの際には、菊川まつり実行委員や老人クラブの方々をはじめとした地区住民のボランティアでお餅をつきますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、「中本もち店」にお餅をついていただきました。

福引大抽選会では、53世帯分の商品券がある中で、624世帯の参加がありました。12月24日の夜に福引を行い、当選者には郵送等で商品券をお渡しいたしました。商品券作成のご協力いただいた企業さんは以下のとおりです。

### ◎ 商品券作成にご協力いただいた企業(敬称略)

丸久(サンマート上野店) / 肉のふじや(サンマート上野店) / 活魚料理あさもと / スーパー小松大神店 / 菊川薬局 / 四熊工房 / カフェ mucu mucu / ファミリーマート周南下上店 / セブンイレブン周南下上店



## わが家のペット 大集合

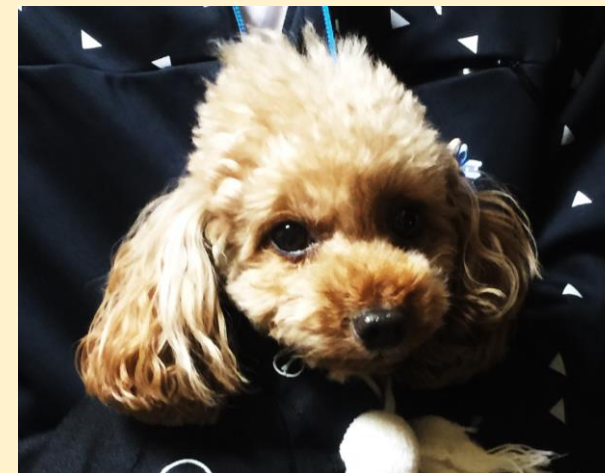
菊川のかわいいペットを集めました♪

### ● マーチちゃん



コメント：全身全霊で私達家族を信頼し、愛してくれてありがとう

### ● 詩音くん



コメント：いつも元気に動き回る姿に元気ももらってます。でももう少し落ち着いてくれてもよくてよ(笑)

※ 掲載可能な写真データがありましたら、一言コメントを添えて、菊川市民センターへメールをください。常時募集中です♪

## きくがワハハクラブ ～ サポーター募集 ～

### ■ きくがワハハクラブとは？

今年で11年目を迎える、菊川地区放課後子ども教室の通称です。放課後子ども教室は、児童が放課後に安心・安全のもと、友達や地域の皆さんと学びや交流を深める場所です。

### ■ サポーターとは？

地域の大人として、きくがワハハクラブに加入した菊川小学校児童達の日常的な学習のサポート(宿題や自主学習)、体験活動等(令和3年度は花の苗植え、風車づくり、牛乳パック製かごづくり、消防訓練、昔の遊び体験等々)を行います。

### ■ サポーターの活動内容

【会場】菊川市民センター(活動内容により菊川小学校の場合も)

【開催日・時間】学期中の毎週水曜日(学校が休みの日はお休み) 下校～17:00

【基本スケジュール】

14:30～15:00 学校から会場まで参加児童を誘導

15:00～15:45 宿題、自主学習のサポート

15:50～17:00 体験活動、ゲーム 等の運営

【活動謝金】600円/時間

【保険】きくがワハハクラブの活動資金で、スポーツ安全保険に加入

子ども達の学びに携わりたい、子ども達と交流したい等という思いを持つ方なら老若男女問わず大歓迎です。特別な経験や資格がなくても全然問題ありません。少しでも興味を持っていただけたなら、事務局の菊川市民センター(☎ 62-2801)までご連絡ください。一緒に活動できる日を楽しみにしております。

きくがワハハクラブサポーター一同



⑤ 加見地区自主防災防犯協議会 副会長

明石 賢次 様

⑥ 下上地区自主防災防犯協議会 会長

古森 繁樹 様

菊川地区の安全を守る「見守り隊」として活躍されているお二人にインタビューをしました。見守り隊は15年の歴史があり、下上地区では約30名、加見地区では約40名のボランティア隊員がいます。



・見守り隊について教えてください。  
 【古・明】自主防災の活動の一環として「見守り隊」をしています。登下校の見守りは活動のほんの一部で、地区の犯罪防止のために「ながら見守り」を実践しています。犯罪や災害は予期せぬ時に起こります。隊員は立哨の時だけではなく、家事や畑仕事など「何かをしながら」も地域を見守っています。

また、下上の自主防災防犯協議会は自治会とは別組織で、有志を募って活動しています。下上は世帯数が多く、自治会だけでは活動の管理が行き届きません。防災活動を継続させるためにもそのような体制にしました。なお、加見地区の自主防災は自治会の活動として行っています。  
 ・やりがいはどのような時に感じますか？

【古】子どもとのふれあいで気持ちが若返ります。元気に走る子、2〜3人でふざける子、ぶすくれる子たちを見ると、自分にもああいう時代があったなと懐かしくなります。  
 【明】子どもの様子の小さな変化に気付くことができます。いつも一緒に帰る子が別々に帰っているのを見

ると「あら、おかしい」と思います。  
 ・見守り隊にはどのようにしたら参加できますか？  
 【古・明】菊川市民センター(☎62・2801)へご連絡いただき、それぞれの見守り隊の事務局をご確認いただけたらと思います。隊員はボランティア精神にあふれた人が多く、お話し楽しいですよ。いきいきサロンに参加するぐらいの気持ちで、散歩がてらお気軽にご参加ください。よろしくお願ひします。  
 ・今日はお忙しい中インタビューにご協力いただき、ありがとうございます。



しもかみ見守り隊の活動が評価されて県から表彰されました



菊川 深訪

第48回 下上地域の変遷

菊川の下上地域(旧富岡村)に関して、先人たちの偉業に触れたいと思う。最近「菊川地区だより」(昭和六十一年)で「富岡村庁落成記念写真」を見つけた。この場所には現在岡上野自治会館があり、春には桜の花が咲き誇っている。

富岡地域は、中世には「富田保」として陶氏の中心地であった。明治維新後、市町村制の発布により、本藩(萩領)の小畑、徳山藩領の下上、四熊、福川村の一部「花河原」を含め、明治二十一年(一八八八)に富岡村が誕生した。大正十年の人口は、富岡村三千五百二十五人であり、現在は六千二百十三名(令和四年二月)となっている。戸数は六百八十一戸(一世帯当たり、家族は五名)、村会議員は十二名、村職員数は村長含めて七名、更に使丁(してい 雑用係) 1名もいた。

この記念写真は、昭和七年(一九三二)の庁舎落成であり、下段中央にいる村長 磯部敏彦(四熊松兼 出身)で、和服姿が村会議員であり、洋装が村職員である。村長は、当時三十四歳の若さで洋装に蝶ネクタイであり、町会議員の和服姿の凛とした姿勢は、尊厳を感じる。又、当時の産業を調べると、徳山市の発展に伴い野菜の

供給地であり、広谷(小畑)の牛蒡(ゴボウ)や横矢の柿が有名であり、工業としては竹細工物(ガンザキ、竹ホウキ、竹製のザル)や「裁縫箱」であったと記述がある。「裁縫箱」は土井の小林清次さんが発明して、専売特許品となり、全国で使用された。村庁舎の変遷であるが、徳山市が昭和十年(一九三五)に誕生後、富岡村は昭和十六年、加見村は昭和十七年に合併した。その結果 富岡村の庁舎が、徳山市の富岡支所となり、加見村の庁舎は、徳山市の加見支所となった。更に、昭和四十七年(一九七二)に、両支所の統合が行われ、現在の「菊川支所・市民センター」となり、両支所の役目は終わった。現在の支所・市民センターも、もう半世紀の歳月が過ぎた。



富岡村庁舎の落成記念写真(昭和7年)

キャンドル教室 + キャンドルナイト 開催

令和3年12月19日(日)に、キクがわユメプラン委員会が親子向け事業として「キャンドル教室」及び「キャンドルナイト」を開催しました。「キャンドル教室」では、8組の家族が参加し、ジェルワックスを使った手作りろうそくを作りました。「キャンドルナイト」は、新型コロナ対策として一般公開を断念し、菊川地区子ども会育成連絡協議会に加入されている家族向けに公開しました。クリスマスが近い日取りだったこともあり、ハートに矢が刺さった様子を再現してみました。いつか制限など設けずに菊川地区の皆さんにお見せできる日を楽しみにしております！

